

発信は継続できている

内容も丁寧に書いている / それでも反応が薄い

読まれていない感覚・スルーされる状態

書くこと自体が怖くなる
努力と結果が結びつかない

努力が空回りしている状態

努力不足ではない

設計のズレ

伝え方の順番が逆

- 自分の想いから開始している
- **読者の入口が未設計**
- 中身に入る前に離脱されている

**構造のズレによる停滞
読まれない状態が固定されている**

その方向では改善しない

- × 頑張れば届く
- × 丁寧に書けば伝わる
- × 量を増やすれば伸びる
- × 内容を磨けば変わる

順番がズレたままの継続は、リスク

頑張り直しでは解決しない
必要なのは「構造」の修正

読者の順番に合わせる

1. 共感：入口を作る

2. 問い：自分事化させる

3. 視点：理解を更新する

4. 結論：持ち帰らせる

流れが読了を作り、順番が反応を生む

「読み手」の指が止まる

読了率が上がる
途中離脱が減る

- 反応が発生し始める
- 保存やコメントが増える
- 書くことへの抵抗が減る

手応えが生まれる

発信が継続しやすくなる

順番だけ、整える。

1. 過去投稿を一本選択する
2. 冒頭を「共感」に変更する
3. 問いを一行追加する
4. 結論を最後へ移動する
5. パズルを組み直して投稿する

内容を変えずに、順序を変える
反応の差を確認する

投稿前の品質点検

- ☐ 一行目で指が止まるか
- ☐ 共感が入っているか
- ☐ 問いが存在するか
- ☐ 順番が崩れていないか
- ☐ 読者視点になっているか
- ☐ 離脱ポイントがないか

「型」を固定し、データを蓄める。

- 順番を型として固定する
- 毎回同じ流れで書き切る
- 内容改善は後回しにする
- 反応データを蓄積する
- ズレたらこの構造に戻る

必要なら外から調整する

必要な人だけ次へ